

ぐるり39

～自治調査会だより～

2014
4

NO. 007

[発行日]
2014.4.1



【タイトル】春爛漫 【撮影者】塚口 晴宏（小金井市） 【撮影場所】昭和記念公園（立川市）

- | | | | |
|---------------------|---|-------------------------|---|
| ▶ 理事会・評議員会を開催しました | 2 | ▶ TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ | 7 |
| ▶ 平成26年度 自治調査会の主な事業 | 3 | ▶ 「多摩市町村のあゆみ」第2版の発行について | 7 |
| ▶ 多摩交流センターだより | | ▶ 編集後記 | 7 |
| ・多摩発・遠隔生涯学習講座 | 5 | ▶ とっておき特産物 第35回 八丈町 | 8 |
| ・イベント情報 | 6 | | |
| 第4回西武沿線男声合唱団交歓演奏会 | | | |
| 奥多摩セラピーウォーク | | | |
| 檜原の四季を料理しよう！ | | | |

Contents

4月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

理事会・評議員会を開催しました

平成26年2月25日(火)に、公益財団法人 東京市町村自治調査会平成25年度第5回理事会及び第2回評議員会を開催しました。今回の理事会・評議員会で決議された主な内容は、以下のとおりです。



1. 平成26年度事業計画及び収支予算

「市町村の行財政等に関する調査研究」や「市町村共同事業の実施及び支援」、「広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)」などの事業計画及び収支予算が承認・決定されました。事業内容については、3~4ページをご参照ください。

2. 評議員の選任

辞任した評議員の後任として、新たに下記の1名の評議員を選任いたしました。

【 新評議員 大坪冬彦(日野市長) 】

役員名簿(平成26年4月1日現在)

【役員】

役職	氏名	所属
理事長	竹内 俊夫	青梅市長
副理事長	河村 文夫	奥多摩町長
常務理事	石井 恒利	東京都市長会事務局長
理事	北川 穰一	昭島市長
理事	長友 貴樹	調布市長
理事	藤野 勝	武蔵村山市長
理事	阿部 裕行	多摩市長
理事	白井 孝	あきる野市長
理事	橋本 聖二	日の出町長
監事	清原 慶子	三鷹市長
監事	坂本 義次	檜原村長

【評議員】

役職	氏名	所属
評議員	石森 孝志	八王子市長
評議員	清水 庄平	立川市長
評議員	邑上 守正	武蔵野市長
評議員	石阪 丈一	町田市長
評議員	大坪 冬彦	日野市長
評議員	佐藤 一夫	国立市長
評議員	尾崎 保夫	東大和市長
評議員	渋谷 金太郎	清瀬市長
評議員	高橋 勝浩	稲城市長
評議員	並木 心	羽村市長
評議員	石野田 富弘	神津島村長
評議員	山下 奉也	八丈町長

平成26年度 自治調査会の主な事業

多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究、市町村共同事業の実施・助成などを行うとともに市民交流の推進を図り、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

1. 市町村の行財政などに関する調査研究（1号事業）

（1）調査研究事業

- 市町村の公共施設の運営に関する調査研究
- 自転車とまちづくりに関する調査研究
- ご当地キャラクターの活用に関する調査研究～多摩・島しょ発!ご当地キャラクター!!～
- 島しょ地域における自治体の定住促進策に関する調査研究
- 多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究
- かゆいところに手が届く! 多摩・島しょ自治体お役立ち情報

※調査研究内容の概要は、本紙No006（2014年3月1日発行）をご覧ください。

（2）実態調査事業

- 多摩地域ごみ実態調査(毎年度実施)
多摩地域の自治体の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的かつ横断的な統計データ集を作成します。
- 多摩地域データブック(毎年度実施)
今後のまちづくりや政策形成の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要分野の統計データ集を作成します。
- 市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標(毎年度実施)
39市町村における、財政力指数、経常収支比率、公債費比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。

2. 市町村共同事業の実施及び支援（2号事業）

（1）39市町村共同助成事業

多摩・島しょ地域の39市町村が連携して行う「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」と「多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業」を東京都市長会・東京都町村会と共同で実施します。

（2）オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

特別区長会・東京都市長会・東京都町村会の主催、（公財）特別区協議会及び当調査会の企画運営により、都内62市区町村と、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減への取り組みにおいて連携・共同し、市区町村や地域の特性に応じた自然環境保護、温暖化防止に向けた対策の推進を図ります。

（3）協賛事業

島しょ地域の子どもたちを対象に実施される「愛らんどリーグ(サッカー大会)」及び島しょ地域の振興を目的に実施している「東京愛らんどフェア(島じまん)」に協賛します。

3. 市町村の自治に関する普及啓発（3号事業）

- 機関紙「ぐるり39」、ホームページなどを活用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。
- 調査研究の成果などを広く周知するため、フォーラム・シンポジウムを開催するとともに、平成25年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査結果のプレゼンテーションを行う出張フォーラムを実施します。
- 市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「ニュース・レター」を発行します。



▲ぐるり39



▲ニュース・レター

4. 広域的市民活動への支援【多摩交流センター事業】（4号事業）

(1) 交流の場の提供事業

広域的な市民ネットワーク活動の推進と市民の交流を図るため、広域的な市民活動を行っている登録団体に交流の場（会議室、備品等）を提供するとともに、市民団体の広報活動を支援します。

(2) 助成等事業

① 事業費助成

市町村の枠を越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する、地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

② 活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たにやりたい、発展させたいという市民団体に事業経費の一部を助成します。

(3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、TAMA市民塾、多摩の歴史講座、インターネット放送による多摩発・遠隔生涯学習講座などの事業を実施します。

(4) 情報発信事業

- 多摩地域に関する各種の情報を収集し、多摩交流センター資料室において、配架・提供します。
- 機関紙「ぐるり39」やホームページで、多摩交流センターに係る情報を発信します。
- 平成26年7月1日に開設20周年を迎える多摩交流センターの記念事業を実施します。
- 「TAMAらいふ21」に関する記録や資料などを公開します。



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催

後援：武蔵野市教育委員会



4月・5月予定の講座案内

122回

日時 平成26年4月10日(木) 午後2時30分から約1時間
題名 土方歳三の愛人 花魁高尾太夫と土佐山内容堂
講師 村瀬 彰吾 氏(新撰組のふるさと歴史館初代館長)
内容 歳三という人は、若い頃から、独りで行動することの多かった人である。今日も、浅草へ来て、どぜうを食べている。だが、浅草が目的ではなく、これからの行く先は吉原である。馴染みの太夫に会いに行くのだが、そのお相手とは、花魁の中でも筆頭と言われる高尾太夫である。座敷に上がるのも、簡単ではない。そこへ、歳三にとって強力な恋敵が現れた。土佐24万石藩主、山内容堂である。さて、この騒動の顛末は…
 ※これは、浅草老舗『駒形どぜう』に伝わる聞き書きである。

123回

日時 平成26年5月8日(木) 午後2時30分から約1時間
題名 教育や学習の常識を考え直しませんか
講師 高原 北雄 氏
 (NPO法人全国生涯学習ネットワーク会長、航空宇宙技術研究所(現JAXA)元部長)
内容 大学卒業時の平均余命は明治中期に比して現在3倍にも伸び、知的機械の進歩は私達の頭脳を遙かに超えています。企業では知的機械を取り込み始め、今後雇用は一層激減する可能性を秘めています。しかし、私達は心を持ち、五感と頭脳と筋肉を連携させる素晴らしい能力を持ち合わせていますので、新しい学習法を考案しませんか。

- 受講料** 無料(ただし資料代100円) ○**サテライト会場** 武蔵野市かたらいの道
- 講座場所** 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください)
- ライブ中継・VOD視聴について** 多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

5月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は5月8日(木)を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第937回	5月1日(木) 午後2時から	人は何故“終活”するようになったか	有馬 将由 氏 (NPO法人終活支援センター代表理事)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第938回	5月8日(木) 午後2時30分から	教育や学習の常識を 考え直しませんか	高原 北雄 氏 (NPO法人全国生涯学習ネットワーク会長、 航空宇宙技術研究所(現JAXA)元部長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第939回	5月15日(木) 午後2時から	大久保利通の真実	横田 庄一郎 氏 (作家、元朝日新聞記者)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第940回	5月22日(木) 午後2時から	算術実学講座 “むかしはみんな小学生”	石田 潤 氏 (理学博士)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第941回	5月29日(木) 午後2時から	二十四節季を感じながら	水木 菜花 氏 (アートナビゲーター、唯心(ゆいしん)画家)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[詳細問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

イベント情報

第4回西武沿線男声合唱団交歓演奏会

日時 4月27日(日) 午後2時開演(1時30分開場)
会場 東久留米市生涯学習センター「まろにえホール」
 西武池袋線東久留米駅西口より徒歩12分(バス5分)

内容 今回は湧水と清流の町「東久留米」で開催。
 多摩北部に位置する小平、東村山、西東京、東久留米の各市から4合唱団(K・K・メンネルコール、むさし野男声合唱団、男声合唱団アンサンブル・ステラ、男声合唱団ダンディーズ)其々の合唱と総勢100名の合同演奏。男声合唱ならではの魅力たっぷりのハーモニーをお楽しみください。

入場料 無料(整理券が必要)

【主催】 西武沿線男声合唱団交歓演奏会実行委員会

【問合せ】 宮川:090-4929-7610 酒井:090-6718-0718



奥多摩セラピーウォーク

日時 4月29日(祝)
会場 JR奥多摩駅前 受付時間:午前9時~11時
コース JR奥多摩駅~奥多摩むかしみち~奥多摩湖
 (約10km4時間のコース)

内容 町内に5つあるセラピーロードの1つで、今も随所に昔そのままの姿が残る奥多摩むかしみちを歩くイベントです。コースの途中では名人・達人ガイドによる名所案内、ゴールとなる奥多摩湖では参加者全員に、豚汁、奥多摩特産品、湯めぐり割引証として使える完歩証のプレゼントがあります。また、奥多摩の特産品を集めた物産展とクラフトフェアも同時開催しています。

参加費 500円

【主催】 セラピーウォーク実行委員会

【問合せ】 セラピーウォーク実行委員会事務局(奥多摩町観光産業課内) 担当:坂村・山宮

TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344 URL <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>



檜原の四季を料理しよう! ー檜原村お料理教室ー

日時 5月17日(土) 午前10時30分~12時30分(予定)
場所 NPOのお店 四季の里 (檜原村5493)
 JR五日市線 武蔵五日市駅からバスで約20分
 (9時48分発藤倉行き、10時10分 払沢の滝入口下車、徒歩3分)

内容 檜原村で地産地消のお料理を提供しているNPOのお店四季の里で、人気のある“ひるげ”について紹介するお料理教室を開きます。料理長が講師となって、季節の食材を生かしたひるげの調理法やそのポイントをお話しながら、作るところをお見せし、実際に味わっていただきます。

入場料・参加費 1,300円(昼食付き)

【主催】 檜原の四季・お料理普及研究会

【問合せ】 NPO法人フジの森

TEL 090-8808-6589 FAX 042-598-6930

E-Mail info@fujinomori.net URL <http://www.fujinomori.net/>



TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ



第97回

芭蕉のもう一つの顔

—〈挨拶〉と〈和合〉—

【講師】和田 博通 氏

日 時	平成26年4月20日(日) 午後 2時～4時	申込方法	当日会場にお越しください。
場 所	多摩交流センター会議室 京王線府中駅北口 府中駅北第二庁舎6階 (府中市寿町1-5-1)	受講料	無料
		問 合 せ	多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

「多摩市町村のあゆみ」第2版の発行について

当調査会発行の「多摩市町村のあゆみ」ですが、ご好評につき、この度、第2版を発行しました。既にお知らせしている訂正箇所を反映させたほか、若干の修正を加えています。

多摩交流センターで配布するほか、郵送(実費負担)での対応も行います。

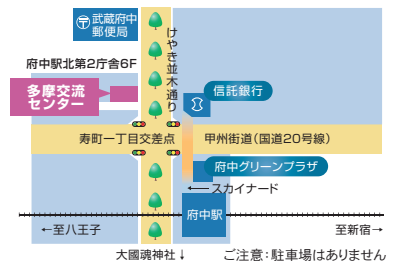
お問い合わせは、多摩交流センター(TEL 042-335-0100)まで。



「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



編集後記

- 新年度を迎えました。各職場や学校などでも新メンバーを迎え、心機一転、新たなスタートを切ったことと思います。当調査会でも、多くの職員が入れ替わり、新体制がスタートしました。職員一丸となって各事業に取り組んでいきます。
- 今年度は、主な事業として、「市町村の公共施設の運営に関する調査研究」をはじめ計5本の調査研究を行っていくほか、「空き家対策」をテーマにしたシンポジウムの開催を予定しております。また、今年度は多摩交流センター開設20周年に当たるため、これを記念した事業も展開していく予定です。
- これらの事業を着実に実施しつつ、弊紙「ぐるり39」についても内容の一層の充実に努め、当調査会の発信力を高めていきたいと考えております。
- 人口減少・少子高齢社会の到来を見据え、多摩・島しょ地域の課題解決や地域活性化に向け、皆様とともに考え歩いていく自治調査会でありたい、そんなふうを考えております。今後ともお引き立てのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

とっておき特産物

第35回 八丈町

八丈島名産 あしたば 明日葉

名前の由来は今日摘んでも明日には新しい芽を出すというところからと云われています。

明日葉は栄養価が大変高い緑黄色野菜で、ミネラル、ビタミン、食物繊維が豊富に含まれています。また特徴的な成分として、カルコン類やクマリン類が含まれています。

これらの栄養素を含む健康野菜「明日葉」を、ぜひ食卓に取り入れてみてください。



八丈島名産 くさや

～くさやの由来～

かつて伊豆諸島では、保存食として魚を塩でまぶし、天日で干す加工法を利用していましたが、当時は貴重品であった塩を節約するため、同じ塩水に何度も魚を漬けているうちに、塩水に魚のエキスが加わり、塩汁(くさや汁)ができたと言われていいます。



あしたば くさやと明日葉の和え物

相性がとても良く栄養満点です。くさやが苦手な人も、明日葉が苦手な人も一度はご賞味あれ!八丈島産のくさやは、肉厚で柔らかく、匂い控え目で食べやすいと評判です。

お店や販売情報の詳細は下記までご連絡ください。

■ くさやに関するお問い合わせ先

八丈島水産加工協同組合

TEL 04996-2-2256

■ 明日葉に関するお問い合わせ先

東京島しょ農業協同組合大賀郷店

TEL 04996-2-1255

記事、写真提供：八丈町産業観光課

☎04996-2-1125

【発行日】平成26年4月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】石井恒利

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>